

平成27年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	東京藝術大学	主たる交流先	トルコ
事 業 名	Global Arts Crossing ～中東地域との戦略的芸術文化外交～		

〔評価コメント〕

本事業計画は、従来から進められている交流を基礎に、東洋と西洋の芸術文化が交錯・融合する中東地域をターゲットとし、トルコのミマル・シナン美術大学、アナドル大学、イスラエルのベツァルエル美術デザインアカデミーとの交流を通してグローバルに活躍できる芸術家の育成を目的としており、芸術分野での積極的な国際化を図ろうとする姿勢が高く評価できる。

また、既に採択されているスーパーグローバル大学創成支援等により実現しつつある大学のグローバル体制を有効に活用しつつ、ジョイントディグリーの実現や交流学生数などで高い目標を掲げ、補助期間終了後の展開についても具体的に検討されており、継続が期待できる。

一方で、交流の対象となるトルコとイスラエルの3大学間のつながりや具体的な役割分担を明確にすることが必要である。また、実施される「Diversity Crossing プログラム」はLong/Middle/Shortの3種の交流形態となっているが、具体的なインターンシップの内容や双方での教育の実施計画について、更に先方との協議を進め、派遣学生に対して質保証を伴う教育が提供できるよう、更なる精緻化が求められる。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、将来の日本とトルコとの関係を見据え、トルコとの間の架け橋となるリーダー人材の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。